



荷物を少しでも軽くするために

以前ホームページでも触れました“子どもたちの荷物”について、有脇小学校ではいろいろなパターンを検討しました。現在、学校に置いておけるものは、ほぼすべて置いて帰っています。また、これ以上増やしても、今度は置き場所がないのが現状です。絵の具セットや習字道具等は別室に置いている学年もあります。教科書類も家庭で学習しないであろうものは置いていっています。ただ、これは重量的には軽いもので、あまり影響はありません。

もう1学期も経わりですね。成長しましたね

そこで何が一番重いのかを考えました。「ランドセル」です。昔に比べればはるかに軽くなってきていますが、それでもランドセルは重いです。有脇小学校では、学校に来るときは「ランドセル」でと書かれています。そこで、これを変更します。

ナップサック等での登校も可能

- ・両肩にかけるタイプのものに限りです。
- ・今までどおり、ランドセルでの登校でもかまいません。また、日によってランドセルとナップサックを使い分けてもかまいません。→家庭で判断してください。

また、今まで月曜日と金曜日に決められていた上履きについても変更します。

自分で決めた曜日に持ち帰り自由

- ・毎週金曜日に持ち帰り月曜日に持ってきていましたが、月曜日から金曜日まで、自分が指定した曜日に持ち帰ることが可能です。ただし、1日で洗って乾燥させて次の日には学校で使うことになるため、それが可能か、または2足用意していただくなど、家庭で判断してください。→曜日については担任に「持ち帰り票」提出してください。 ※もちろん、今までどおりでもかまいません。
- ・体操服については衛生面から体育のある日にもってきて、その後もち帰ります。

学校へ持っていく荷物が非常に重いことについては、小学校だけでなく中学校でも問題になっています。また全国的な問題ですし、以前から長く続いている問題です。高校や大学のように個人に鍵付きロッカーが割り当てられ、荷物管理を個人の責任で行うというのも小学校では考えにくいことです。今後も工夫していきたいと思っております。



有脇小学校を支えてくださる人



7月13日にせん定をしていただきました。今回も、学校応援団“せん定ボランティア”のみなさんがやってくれました。

梅雨に入り蒸し暑く、雨が降り草木が伸び放題になっていました。とても職員の手には負えません。子どもたちには直接接することはありませんが、有脇小学校の子どもたちが良い環境で勉強できるのは、この“せん定ボランティア”の方たちのおかげなんです。本当にありがとうございます。

だれかに本を読んでもらうことの幸せ

今年度も読み聞かせが始まりました。学校応援団“読み聞かせ”ボランティアのみなさんが来てくれました。今年は木曜日に行います。7月8日は、1～3年生と6年生で実施しました。1年生は紙芝居風の読み聞かせでした。内容もさまざまで、学年や時期に応じた本を読んでもらえます。誰かに本を読んでもらって本当に幸せなことですよ。



出前授業中

出前授業を3年生と4年生がそれぞれ受けました。4年生は半田市役所から「半田市の上下水道」について実験も交えながら学びました。3年生はミツカンから「半田の歴史・産業」について学びました。やはり専門家は違います。子どもたちも納得しながら話を聞いていました。3年生はコロナ対策のため、校内別室からリモートで授業を行いました。本当にありがとうございました。